

みなとMIO MACH けんちくさんぽ vol.30

公益社団法人 日本建築家協会 近畿支部

兵庫地域会 地域まちづくり委員会

復興と発展のシンボル

第二次世界大戦を経て、神戸の人口は戦前の4割に減少し住宅や工場の殆どが被害を受けました。戦後復興期は重化学工業を中心に経済成長を続け、工場用地確保のため臨海部の埋め立てが進められます。臨海部には神戸製鋼所、川崎重工業、三菱電機などが拠点を置き神戸港の運輸機能と相乗効果を生みました。復興と発展のシンボルとして神戸ポートタワー建設が始まりますが、土留めの鋼矢板が地中障害物で損傷し湧水が大量に侵入して工事が難航しました。必死の湧水対策と並行して、265本の杭打ち込みとスラブ厚3.5mのコンクリート打設が進められます。約500㎡という建築面積に対して相当な本数の杭が打たれ、さらに外周部の一部の杭に引抜抵抗を期待することでタワー転倒防止が図られました。軽やかな姿をしたタワーの一方で、軟弱地盤での地震力に耐えるよう地中に堅固な構造が設けられています。



1969年の神戸の航空写真 出典:国土地理院HP
(神戸ポートタワーや神戸臨港線などが見える)

さと安定を備えています。竹ひごを鋼管に見立てて構造の合理性を疑似体験するイベントで、参加者の皆さんは「作業が細かくて大変。」と口にしながら次第に組みあがるミニポートタワーに夢中になります。竹ひごの色や模型の大きさや曲線の開き方などで作品に個性が表れ、子供から大人まで完成した達成感で嬉しそうな表情を見せてくれます。完成後は中に照明を入れて一葉双曲線が作る光と影を楽しみます。完成したミニポートタワーを見せ合ったり、写真を撮ったり、工夫したところを説明しあったりする参加者の様子から、プログラムの楽しさと効果が感じられます。

改修工事が終盤にさしかかり外部足場が外れた神戸ポートタワーを見上げると、

1963年に神戸ポートタワーが竣工した後は、周辺の環境が変化を続けます。神戸港の陸上貨物輸送を支えた国鉄湊川貨物駅と同駅への神戸臨港線が、貨物駅利用減少を背景として1985年に廃止されました。湊川貨物駅跡にハーバーランドの開発が進み、ショッピング、レストラン、アミューズメントを臨海部で楽しむ街へと変化していきます。また湊川貨物駅までの路線廃止により、神戸や元町からウォーターフロントへの徒歩アクセスが容易になりました。1987年にはメリケン波止場と中突堤の間を埋め立ててメリケンパークが完成し、海洋博物館やタワーホテルがオープンして賑わいを増します。大水深コンテナターミナルを備えたポートアイランドや六甲アイランドに国際貿易貨物の拠点が移り、神戸ポートタワー周辺は市民や観光客が憩い楽しむ場へと変化しました。

1995年の阪神・淡路大震災では一帯が液状化で壊滅的な被害を受けましたが、神戸ポートタワーはほとんど損傷を受けませ



神戸ポートタワー
(32本の直線で構成された一葉双曲線)

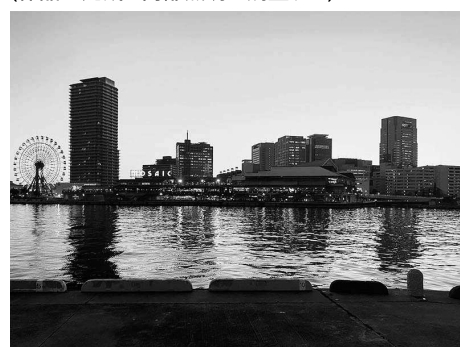
中央部のくびれから頂部への広がり美しいと改めて感じます。新設されるオープンエアの屋上展望台を想像すると期待が高まります。足元のメリケンパークでは翌日の音楽イベントのためにステージが設けられ準備が進められていました。波止場から対岸のハーバーランドを眺めると、夕空を建物のシルエットが切り取り暖色の照明が人々の寛ぎを演出しています。彩度と明度のコントラストが海面に映る美しい風景を、たくさんの家族や若者が眺めていました。神戸のウォーターフロントは活気を増し、都市機能と相乗効果を増していきます。神戸は幾多の困難から復興して発展を続けていますが、その中心には変わらずに神戸ポートタワーがあります。

んでした。湧水と闘いながら堅固に設けられた杭基礎と、美しさを備えた一葉双曲線のタワー構造の合理性が確認されました。現在は神戸ポートタワーのさらなる耐震性能への補強工事が行われ、屋上展望施設や低層部のテラスの新設工事が並行して進められています。神戸ポートタワーから東側に向かって親水公園、水族館、アリーナ(約1万人収容、スポーツ興行、音楽興行、国際会議)、ホテル、オフィス、集合住宅など開発が続きます。三宮や元町からのアクセスを活かし、メリケンパーク、ハーバーランドを含めた回遊性があるウォーターフロントへと発展します。工業・運輸から憩いへと地域の雰囲気が変わりつつ、神戸ポートタワーは発展のシンボルとしての役割を続けます。

(公社)日本建築家協会 近畿支部 兵庫地域会と神戸松蔭女子学院大学は、神戸ポートタワーの曲線美の秘密を学ぶワークショップ「ミニポートタワーをつくろう」を開催しています。32本の鋼管で構成された一葉双曲線は、明快な構造形式でありながら美し



ワークショップ「ミニポートタワーをつくろう」
(作品が完成し内部照明を調整する)



メリケンパークから眺めるハーバーランド



菅原 英房 (すがはら ひでふさ)

公益社団法人 日本建築家協会
近畿支部 兵庫地域会 地域会長/
株式会社 村井敬合同設計 取締役
設計監理部長